

令和7年度 シラバス

教 科	理科	科 目	科学と人間生活	学 年	第2学年	学 科 類 型	商業科
単位数	2 単位	教科書	科学と人間生活（東京書籍）				
副教材	ニューサポート 新課程 科学と人間生活（東京書籍）						

学習目標	自然と人間生活との関り及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、理解します。そして、科学に対する興味・関心を高め、身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、科学技術の発展と人間生活との関わりについて理解を深めます。
------	--

キャリア教育の視点	科学への興味・関心を高めるため、身近な事象・現象に関する観察・実験を行う中で、科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養います。そして、科学技術の在り方について自らの考えを持ち、他者の意見を尊重する態度を養います。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	1編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象	ヒトの生命現象について、人間生活と関連付けて理解します。眼球の構造とはたらきや血糖濃度調節のしくみ、免疫のしくみ、遺伝子とDNAについて理解します。	期末考査
	5月			
	6月			
	7月			
2 学 期	8月	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用	金属やプラスチックの特徴や用途について理解します。資源の再利用について関心を持ち、循環型社会を目指す必要性と3Rについて理解します。	中間考査
	9月			
	10月	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	光の性質について学び、反射・屈折・回折・干渉などの現象を理解します。電磁波の利用とその性質について、赤外線や紫外線、X線の性質と利用について学びます。	期末考査
	11月			
	12月			
3 学 期	1月	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球	太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを人間生活と関連付けて理解します。	学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	授業で教科書の内容を理解し、その後実験や実習を行うことによって、自分の身の回りにある科学について意識して生活してください。エネルギーや自然災害など、現代の諸問題についても自分の考えを持って生活できるように過ごしてください。授業の後にしっかりと復習し知識を定着させて定期考査につなげてください。
-------	--

評価の仕方	下記の(1)～(5)の項目を、評価の観点別(知識・観察や実験の技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。 (1)授業への取組 (2)ノートに記載内容 (3)観察・実験等 (4)教科書・問題集の問題 (5)中間・期末考査
-------	--

備考	
----	--